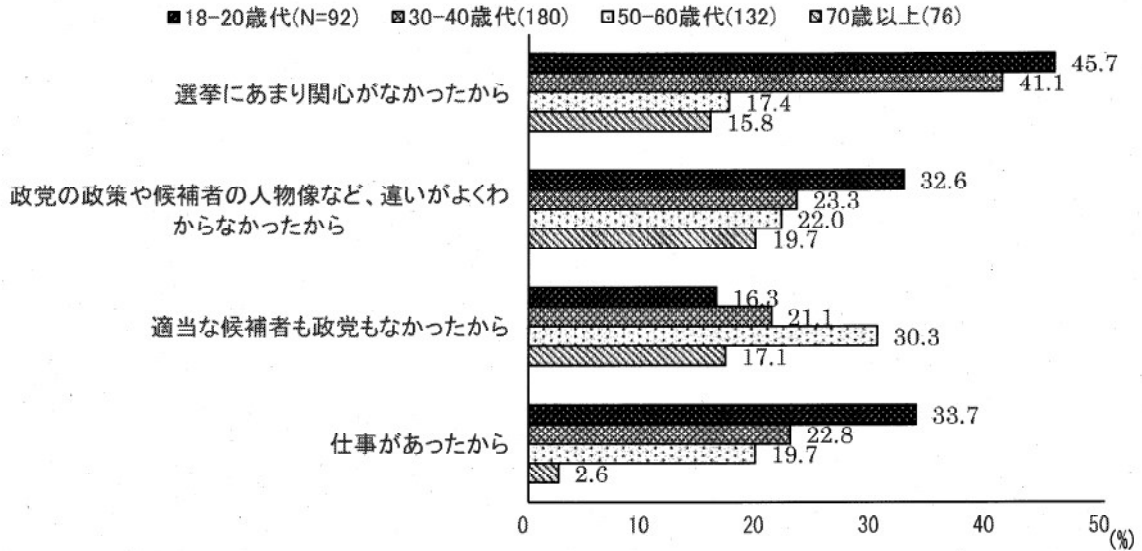


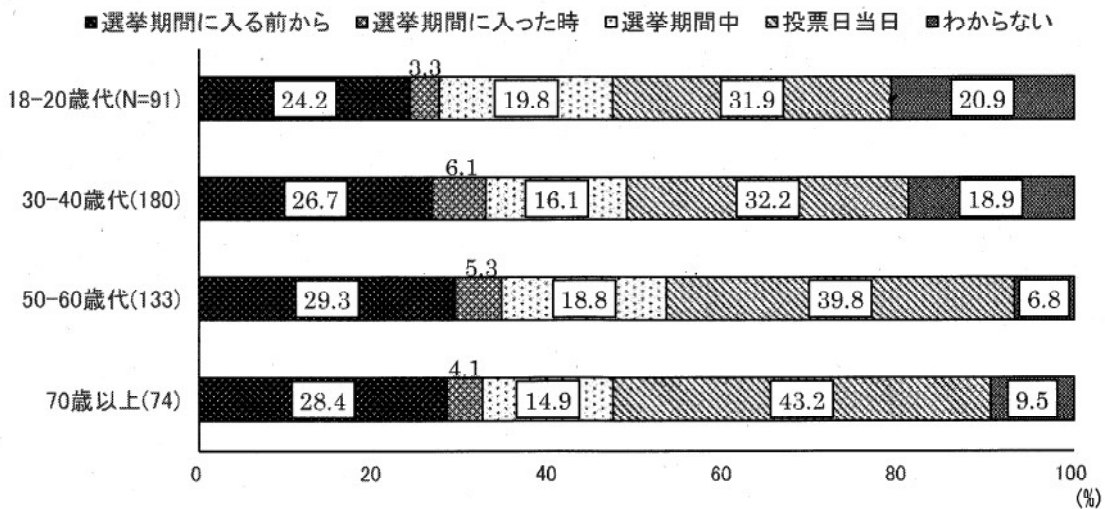
「仕事があったから」へは70歳以上からの選択が最も少なく(2.6%)、他の年代との就業率の違い⁶が表れている。

図3-1 上位4つの棄権理由への各年代の選択率



最後に棄権することを決めた時期について年代別に見てみる(図3-2)。「選挙期間に入る前から」は24~29%程度、「選挙期間に入ったとき」は3~5%程度、「選挙期間中」は15~20%程度と、各選択肢への選択率はいずれの年代も概ね変わらない。但し「投票日当日」は、18-20歳代及び30-40歳代は30%程度であるが、50-60歳代、70歳以上は40%程度であり、10ポイント高くなっている。高齢者ほど投票日当日に棄権することを決めていたことがうかがえる。

図3-2 棄権を決めた時期



投票環境の向上に関する具体的方策（平成 29 年 12 月策定） [抜粋]

■今後の具体的方策について

（１）商業施設等への期日前投票所の設置

出張所が置かれていない行政区を優先し、有権者の利便性向上のため、商業施設への期日前投票所を設置。

（２）出張所での期日前投票所の開設期間等の見直し

出張所間において宅地開発等が進む地域と人口が減少している地域での利用者数の大きな差を考慮した見直し。

（３）当日投票所の人員体制の見直し

期日前投票の利用者の増加に伴う当日投票所の事務従事者配置基準の見直し。

（４）新たな選挙啓発等の取組み

<選挙啓発>

① 選挙啓発動画の作成

若者の意見やアイデアを取り入れた若者向け選挙啓発動画の作成

② ホームページの充実

選挙情報の提供手段としてのホームページコンテンツの充実

③ SNS等を活用した効果的な情報発信

即時性の高いSNS等を活用した効率的な情報発信

<主権者教育>

④ 出前講座の拡充

主権者教育として、これまで実施した高校生向け講座の内容の拡充及び重点的な取り組み。

⑤ 親子参加型の啓発

親と子どもが一緒になっての意識付けとして、親子参加型のイベント等の実施

(ア) イベント会場での模擬投票の実施

(イ) 選挙クイズの実施

⑥ P T Aとの連携による啓発

子育て世代への啓発として、P T A協議会と連携した保護者向け啓発の実施

< 具体的方策の実施状況 >

- ➡ (1) 商業施設等への期日前投票所の設置
井筒屋小倉店（小倉北区）、イオンモール八幡東（八幡東区）、
イオン戸畑ショッピングモール（戸畑区）に期日前投票施設を設置
- ➡ (2) 出張所での期日前投票所の開設期間等の見直し
新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、密を避けるためにすべての出張所の
開所時間を全期間 19 時まで、2 時間延長
- ➡ (3) 当日投票所の人員体制の見直し
当日投票所の従事者を削減（市職員 H29 1,203 人→R3 1,066 人 ▲137 人）
- ➡ (4) 新たな選挙啓発等の取組み
＜選挙啓発＞
 - ①選挙啓発動画の作成
若者に親しみやすい内容とするため、大学生が参加・企画して動画を作成、
ユーチューブに掲載するほか、DVDを作成し、市内全高校に配布
 - ②ホームページの充実
選挙に関する Q & A、福祉移動サービスの紹介などを掲載
 - ③ SNS 等を活用した効果的な情報発信
市公式ツイッター、ライン、ユーチューブ等を活用した選挙周知を実施
＜主権者教育＞
 - ④出前講座の拡充
高校への出前講座や、大学生と協働しての出前授業を実施
 - ⑤親子参加型の啓発
ショッピングモールで、親子参加のゆるキャラ選挙などを実施
大学祭で選挙クイズの実施
 - ⑥ P T A との連携による啓発
選管職員が出向いて、P T A 協議会の会議で出前講演を実施
P 協新聞への選挙広報記事を掲載

北九州市議会総務財政委員会での意見（7月14日）

○期日前投票等について

- ・投票所の増設、時間延長、区を越えた投票ができるなど、投票しやすい環境を整えて欲しい。
- ・市民の投票行動がしやすいのは、基本的には近い場所に投票所があることだと思うので、期日前投票所の拡充に鋭意努力して欲しい。
- ・高台の投票所の変更等ができないか。
- ・期日前投票利用者が増えた結果、待ち時間が生じた。小倉北、八幡東、戸畑の3区の商業施設での期日前の期間（現在4日間）を拡充して欲しい。
- ・商業施設の設置期間を延ばすなど、投票者の都合に合わせた投票環境を作って欲しい。

○主権者教育について

- ・投票率を向上するには主権者としての意識を高める必要がある。学校教育における主権者教育に力を入れて欲しい。

○選挙啓発について

- ・若者の投票動向をしっかりとつかむ必要がある。
- ・ハローキティの起用やSNSの活用は若者が選挙を身近に感じられた。コロナ禍の中、投票率が下がらなくてよかったと思う。
- ・20代の投票に行かない人たちを集めて、意見の交換の場を作って欲しい。若者の意見を取り入れて欲しい。
- ・市議選において、選挙公報の発行がされたことは良かった。
- ・選挙公報は取り入れられたが、20代、30代は紙の媒体はほとんど見ない。若者に届きやすいSNS、動画、音声等で選挙公報に代わるものを提供して欲しい。

○その他

- ・20代の投票率の落ち込みを変えるには、20代などの若い方の立候補が必要だと思う。若者が立候補しやすい環境や制度の改善をして欲しい。
- ・選挙は、基本的に激戦になればなるほど、関心が高まるので投票率は上がる。投票所も近ければ行く傾向があるので、投票率向上の議論というのは、ずっと続くものと思う。